



# 土岐市

# 議会だより

発行:土岐市議会 編集:広報広聴特別委員会 TEL(0572)54-1111(内線351) FAX(0572)54-8971 E-mail:gikai@city.toki.lg.jp

平成28年11月15日 第56号



ひやり谷のせせらぎと  
土岐市の素朴な味

## 目次

- 第4回定例会報告 ..... 2~5
- 一般質問 ..... 6~9
- 視察報告 ..... 10

- 議会報告会を開催しました ..... 11
- 編集後記 ..... 12

# 平成28年 第4回定例会報告

議案番号	議案名	議案の主な内容
議第58号	平成28年度土岐市一般会計補正予算（第2号）	補正額 76,200千円
議第59号	平成28年度土岐市介護保険特別会計補正予算（第1号）	補正額 47,274千円
議第60号	土岐市議会議員及び土岐市長の選挙における自動車の使用及びポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例について	公職選挙法施行令の一部改正等に伴うもの
議第61号	土岐市税条例等の一部を改正する条例について	地方税法等の一部改正等に伴うもの
議第62号	土岐市特定教育・保育施設等に関する利用者負担額を定める条例等の一部を改正する条例について	土岐市保育園の延長保育料の額及び土岐市立幼稚園の預かり保育の保育料の額を改定等するため
議第63号	土岐市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について	市及び市長の指定する者以外の者が指定場所に置かれた一般廃棄物を収集し、又は運搬することを禁止等するため
議第64号	土岐市教育委員会委員の選任同意について	安藤浩市さんの再任同意
議第65号	土岐市教育委員会委員の選任同意について	伊藤知恵子さんの再任同意
議第66号	土岐市公平委員会委員の選任同意について	加藤一治さんの再任同意
議第67号	土岐市恵風荘の指定管理者の指定について	指定管理者として社会福祉法人美濃陶生苑を指定しようとするもの
議第68号	市道路線の認定について	市内道路網の整備を図るため、市道の路線を認定しようとするもの
議第69号	損害賠償の額を定めることについて	消防庁舎壁剥離による物損事故の損害賠償の額を定めようとするもの
議第70号	平成27年度土岐市一般会計決算の認定について	歳入 20,300,526,205円 歳出 19,355,589,159円
議第71号	平成27年度土岐市下水道事業特別会計決算の認定について	歳入 1,894,598,392円 歳出 1,892,098,392円
議第72号	平成27年度土岐市国民健康保険特別会計決算の認定について	歳入 7,399,113,784円 歳出 7,234,638,568円
議第73号	平成27年度土岐市駐車場事業特別会計決算の認定について	歳入 68,956,597円 歳出 56,593,405円
議第74号	平成27年度土岐市介護保険特別会計決算の認定について	歳入 5,392,026,674円 歳出 5,289,648,915円
議第75号	平成27年度土岐市農業集落排水事業特別会計決算の認定について	歳入 34,149,271円 歳出 34,149,271円
議第76号	平成27年度土岐市・瑞浪市介護認定審査会特別会計決算の認定について	歳入 34,984,857円 歳出 34,984,857円
議第77号	平成27年度土岐市・瑞浪市障害者総合支援認定審査会特別会計決算の認定について	歳入 4,609,190円 歳出 4,609,190円
議第78号	平成27年度土岐市後期高齢者医療保険特別会計決算の認定について	歳入 682,951,738円 歳出 663,747,658円
議第79号	平成27年度土岐市病院事業会計決算の認定について	歳入 6,076,879,243円 歳出 6,258,350,516円
議第80号	平成27年度土岐市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	歳入 1,780,962,787円 歳出 1,555,785,839円

第4回定例会には、平成28年度補正予算関係2件、条例関係4件、平成27年度決算関係11件、人事案件3件、その他の案件3件の合計23件が市長から上程されました。今定例会に上程されました予算関係、条例関係、決算関係、その他の案件の20件は、各常任委員会に付託され、9月12日～16日に審査し、本会議において、原案のとおり可決及び認定しました。

人事案件3件については、2日目に採決をし、原案のとおり同意しました。  
本会議での採決状況及び結果につきましては、下記のとおりです。

○：賛成 ×：反対

議案番号	議決結果	小関 篤司	水石 玲子	水野 哲男	各務 和彦	和田 悦子	北谷 峰二	鈴木 正義	山田 正和	後藤 久男	加藤 淳一	加藤 辰亥	楓 博元	杉浦 司美	渡邊 隆	高井由美子	山内 房壽	小栗 恒雄	西尾 隆久	
議第58号	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第59号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第60号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第61号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第62号	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第63号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第64号	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第65号	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第66号	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第67号	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第68号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第69号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第70号	認定	×	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議第71号	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第72号	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第73号	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第74号	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第75号	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第76号	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第77号	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第78号	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第79号	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第80号	可決及び認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 委員会報告(第1常任委員会)

土岐市特定教育・保育施設等に関する利用者負担額を定める条例等の一部を改正する条例について

**質疑** ひと月の負担限度額引き上げは、影響が大きいのではないかと。

**答弁** 所得階層別に料金を細かく設定するので、負担限度額引き上げが全ての人の負担増につながる訳ではない。

**討論** 子育て世代の生活に直結する問題であり、料金体系は条例で定め議会で審議すべきであり、規則に委任するこの条例には反対する。



土岐市恵風荘の指定管理者の指定について

**質疑** 指定管理への移行により経費が削減されるが、サービスの低下等の懸念はないかと。

**答弁** 指定管理者選定委員会の審査の中で、十分に現行もしくは現行以上のサービスが継続されると判断した。

**討論** 指定管理者に対する不安はないものの、今後も市が責任を持って恵風荘を運営すべきであると考え、反対する。



平成27年度土岐市一般会計決算の認定について

**質疑** 生活困窮者自立支援費について、この事業の成果は。

**答弁** 相談者のうち支援プラン作成に至ったのが25件、その中で就労に結びついたものが4件である。

**質疑** 臨時福祉給付金事業の受給者数は。

**答弁** 1万393人、対象者の約83%に支給した。

**質疑** 3人乗り自転車・チャイルドシート購入補助金の交付件数は。

**答弁** 3人乗り自転車は6件、チャイルドシートは207件である。

**質疑** 保育園及び消防職員人件費のうち、電源立地地域対策交付金が充当された職員の数は。

**答弁** 保育園は、保育士45名、調理員7名、消防職員は、63名である。

**討論** 市民サービス向上のためには、非正規の職員に置き換えるのではなく、正規職員を置くべきであり、この決算に反対する。

**討論** 電源立地地域対策交付金の受け取りは、高レベル放射性廃棄物の処分場となる不安があり、一部職員の給与に充当されたこの決算に反対する。

平成27年度土岐市病院事業会計決算の認定について

**質疑** 医師の確保は重要であるが、どのような取り組みがなされたのか。

**答弁** 大学の医局への依頼を引き続き行うとともに、コンサルティング会社の紹介、東濃西部広域事務組合の医師確保奨学資金の貸付制度の活用をしている。

**質疑** 26年度に比べ、入院患者が増加し、外来患者が減少した要因は。

**答弁** 入院患者数の増加については、常勤医が赴任したことによるもの。

外来患者数の減は、診療日数が26年度より1日少なかったこと、一部診療科の常勤医の減によるものである。



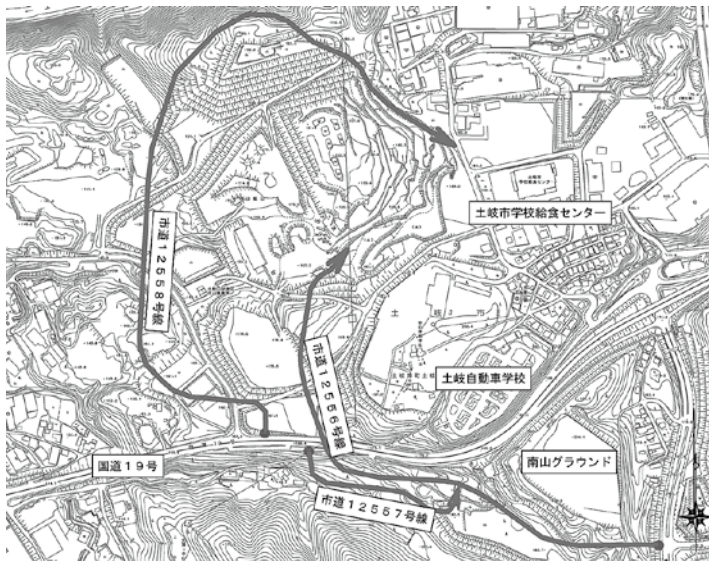
## 委員会報告(第2常任委員会)

### 市道路線の認定について

**質疑** 道路施工前に、市道路線の認定を行う理由は。

**答弁** 今回、市道路線の認定を行う3路線の施工に当たり、国道19号に接続する箇所については国土交通省に工事を委託することになるが、委託契約を行うにはその路線が市道である必要があるため市道路線の認定を行うもの。

**討論** 3路線のうち、開発の中で整備される12556号線の一部と12558号線の施工についての事業予算については十分な審議が必要であることを要望したうえで賛成する。



△認定市道路線図



土岐市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について

**質疑** 条例化の理由は。

**答弁** ごみの持ち去りの抑止力となるとともに、市民からの通報により警察が現場に赴き指導が可能となることから条例化したもの。

### 平成27年度土岐市一般会計決算の認定について

**質疑** 商工振興費のプレミアム商品券発行事業の実績と効果は。

**答弁** 額面1万2千円のものを1万円で販売し、4万セット4億8千万円を完売した。うち99.6%が使用され、消費喚起につながった。

**質疑** hyper-QU（よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート）の成果は。

**答弁** 問題行動等の報告もなく落ち着いた学校生活がおこなわれていることから、hyper-QUを客観的データとして活用した指導、学校運営の成果であるととらえている。

**質疑** 濃南小学校スクールバス運行業務の運行状況は。

**答弁** 利用児童数は鶴里地区で38名、曾木地区で30名であり、各地区2便ずつ運行している。

**質疑** 環境センター職員及び給食センター職員の人件費について、電源立地地域対策交付金が充当された職員の数。

**答弁** 環境センターは技能員30名、給食センターは調理員17名である。

**討論** 電源立地地域対策交付金を市職員の人件費に充てることは不適切であるので、この決算には賛成できない。



水石 玲子

◆防災士の育成について

問市内に防災士は何人みえますか。  
 防災リーダー養成講座の過去3年間の受講人数、合格者の活躍の場の提供について伺います。

答市内在住の防災士有資格者は71名、養成講座の過去3年間の受講者数は平成25年39名、平成26年16名、平成27年9名。活躍の場の提供は、市で開催する各地域の災害図上訓練への参加、または各町で実施する防災訓練への参加。

問71名の防災士の中で何名の方が活躍してみえますか。

答過去3年間の災害図上訓練へ協力していただいた述べ人数という形でお知らせします。26年度述べ65人、27年度94人、28年度はまだ途中ですが70人の方に協力をお願いしています。

◆福祉避難所について

問市内に何か所あるのか、また、受け入れ可能人数は。

答5施設を指定しています。とき陶生苑に約30人、ウエルフェア土岐に

約10人、すこやか館に約10人、恵風荘に約10人、ひだまりに約10人、合計約70人の受け入れが可能になっております。

問福祉避難所の周知、徹底はされてみえるのか伺います。

答市のホームページを活用し、周知を図っていきます。

問災害時の受け入れ体制、指示、連絡網等の整備はなされてみえますか。

答福祉避難所開設に特化した訓練は実施していない。施設管理者及び施設職員との連携確認、広域避難所から福祉避難所への移送手段の確認、訓練の実施を今後予定しています。

◆被災者台帳システムについて

問被災者台帳システムを導入されてみえますか。また、今までに稼働されたことはありますか。

答岐阜県市町村行政情報センターがパッケージ化しているシステムをパソコンに取り入れている状況です。導入してはいるが稼働はしていない状況です。

◆B型肝炎ワクチン接種の助成について

問10月より0歳児に定期接種が始まりますが、接種対象年齢の引き上げと共に公費助成の考えはありますか。

答対象年齢の引き上げについては、現在、対応は考えておりません。

《第4回定例会一般質問》



北谷 峰二

◆美濃陶芸村について

問何らかの理由で作陶活動が出来なくなり村を出る時の条件はあるのか。

答陶芸村は市有地であり現在入村している方は市有地の普通財産と一緒に賃貸借契約を結んでおり貸付地の返還時は原状回復が原則。ただ陶芸村の場合は契約書に市の承諾があった場合はこの限りではない。

●提案①窯を作るのは大変なことでまた一から工房を作るのも大変であるから、もし退村する作家さんがおみえになればその工房、窯を次にやりたいなという方があれば使えるよう話ができればありがたい。

●提案②全く発想を変えて美濃陶芸村を陶芸というジャンルだけに絞らず、日本にはガラス、木彫、染色など様々な伝統工芸があり、伝統工芸を志している若者があり、土岐市的美濃陶芸村に日本全国から来てもらい、それぞれの卵を育てる村「土岐市伝統工芸村」にしては。

◆公園遊具及び器具有について

問危険と判断すると修理しないで撤去する自治体が全国的に増えているが土岐市の対応は。

答年一回点検し、撤去及び更新の際地元の皆さん方の意見を伺いながら基本的には更新という方向で考えている。

問子供さんが公園で遊ぶということが大変少なくなっている。今は公園で遊ぶのは高齢者と言われる中、高齢者・大人向けの健康器具に替える自治体が増えている。土岐市において安全対策も含め健康器具を増設する考えは。

答健康づくり、老化防止に役立つ健康器具が注目されているが、先ず安全対策に十分留意し公園施設の維持修繕・更新を優先し、更新の際若しくは新設の時には安全等を加味し地元の皆様方の意見を伺いながら考えたい。



△土岐川公園の健康器具



各務 和彦

◆コンビニ交付サービスについて

問 土岐市本庁において日曜窓口を開設しているが、コンビニ交付について今後の考え方と取り組みについて。

答 このサービスを利用していただくには、マイナンバーカードが必須で、その普及が必要不可欠でございます。東濃5市の戸籍住民情報関係部署による研究会を立ち上げており、平成27年度から検討を始め、本市独自の導入についても、導入に係わる経費、利用者の見込み、今後の日曜窓口をどうするのかという、その開設方法なども併せてさらに検討を進めてまいります。

◆熊本地震の教訓について

問 地域の自主防災組織について。

答 一人でも多くの住民の皆さんが、防災への関心を持っていただけるように、各町内で実施している災害図上訓練・各団体への防災出前講座等の開催により自助・共助の重要性等、市民の防災意識向上に努めるとともに、ハード面の支援ということ、防災資機材整備補助事業などの実施

により引き続き地域防災力の向上に努めてまいりたいと考えております。●市民の自発的な組織という形で、防災組織を立ち上げる地域もあると聞いていますので、運営及び補助金活用についての助言・支援も併せてよろしく願います。

問 市内の各防災倉庫の資機材の配備と使用体制について。

答 市内23カ所に設置してある市の防災倉庫につきましては、毎年定期的な点検・維持管理を図っております。現在、倉庫内に配備している資機材について、人口等も考慮して配分の見直しを行おうとしているところでございます。そのときに併せまして倉庫内に配置資機材一覧表を統一的にわかりやすい形で掲示したいと考えており、どの地域にどの資機材があるかということも横断的に知っていただくという意味で、併せて各町の連合会への資料提供についても実施してまいりたいと考えております。



△泉中学校防災倉庫

《第4回定例会一般質問》



和田 悦子

●土岐市駅前に賑わいを。

◆中心市街地活性化事業のふりかえりについて

問 中心市街地活性化事業は平成21年度から平成27年度の実施期間でしたが、その中のまちづくり活動支援事業が平成25年度で終了となった理由は。

答 新土岐津線整備事業を円滑に推進するためのソフト事業である。自主的なまちづくり活動に一定の方向が確認されるとともに、中心市街地活性化事業は当初の目的を達成したものと判断し終了した。

問 土岐市駅前の中心市街地が空洞化したら、その都市の発展はないと言われる。中心市街地の活性化、にぎわい創出事業を企画し、財政面での強力な支援と市民の提案には真摯に検討してほしい。

答 いわゆる中心市街地はどこなのか、私どもの行政の立場で言えば、中心市街地はないという考え方である。今は個別の商店街の事業に対して支援をしている。皆さんの要請があれば

ば商店街の活性化を図っていきたいと思っている。駅前地区、駄知地区、下石地区に商業の集積地があり、それぞれの振興をそれぞれの施策でやっていかないとけないという考え方はある。

◆行政評価一覧について

問 事務事業評価シートはなぜ公開しないのか。

答 行政評価は行政の透明性を高め、効果的で効果的な市政の実現と内容を市民の皆さんにわかりやすく説明するための手段と考えている。行政評価一覧は95事業について事務事業評価シートほとんどを網羅している、大局的にみられるというメリットがある。過去に全ての事務事業評価シートを公開していたが、閲覧数が少ないこと、また見る際のページ移動が煩雑という指摘があった。希望があれば閲覧は可能です。

問 外部評価委員会は設置できないか。

答 第6次総合計画においてPDCAサイクルによる進行管理の明確化を図っていかうというふうになっている。重点的に取り組んだ施策事業の評価にあたっては評価委員会の設置を検討していきたい。



山内 房壽

◆財政について

問今後の税収見直しは。

答人口減少、高齢化に伴う労働人口の減少などによりおおむね横ばいから微減で推移するものと推計をいたしております。

問使用料・手数料の見直しの主な理由は。

答安定した市政運営のための歳入の確保と、施設利用状況や他市の料金体系等を把握した上で、必要に応じた受益者負担となるよう見直しを行うことといたしました。

問ごみ有料化について市長の考えは。

答周りの状況を見ますとそろそろ有料化しないとまずいかなというふうに考えております。土岐市は1人当たりの排出量が多く、他市のごみも大分入っているようなという状況もありますので、その辺も含めて有料化も必要かなというふうに思っています。

問今後土岐市の大型事業はどのようなものがあるのか。

答土岐口開発に伴う道路新設事業に

約21億円、駅前整備に約8億円、西部地区認定こども園に約9億円、新庁舎建設に約51億円です。

問一般会計の平成27年度の市債と基金の残高は。

答市債残高は133億5501万円、基金残高は86億7866万円です。

問特別会計と公営企業会計の市債残高は。

答下水道事業特別会計101億2444万円、農業集落排水事業特別会計3億1239万円、水道事業会計37億9402万円、病院事業会計31億5565万円となっています。

問一般会計の市債が平成23年から比べるとふえておりますが、今後の見直しは。

答庁舎建設、あるいは土岐口開発の道路は相当額を起債で賄っていくことになるかと思っておりますので、起債残高については一時的にはふえるという認識を持っています。

●現在の大型事業と予算の見直しを検討すべきだと思います。

◆土岐口開発について

問現在の取付道路の他に地元生活道路の建設予定は無いとのことですが、緊急時に緊急車両等が到着出来ない場合が想定されますが。

答現在より混雑するということは想定されますが、救急車両が到達出来ないかということまでは判りません。

《第4回定例会一般質問》



小栗 恒雄

◆使用料・手数料・ごみ処理有料化改正条例案12月議会にて提案。

問土岐市の基本方針での、使用料・手数料の見直し後、増収額はどのくらいになるのか教えてください。

答使用料・手数料が一括で、条例として検討しておるのが24条例というふうに考えており、どのくらいの効果ということについては、9千万円程度の増額になると試算しています。改正条例案につきましては、次の12月議会に提案を考慮しております。

問土岐市は従来政策として保育料を低く抑えてきた経緯がございます。

答使用料・手数料の見直し目的には、適正化だけでなく、同時に歳入確保する値上げが前提にあると思います。が、今回の見直しは、市長の公約と

か政策というのとは考慮されるのか。

答(市長)特に保育料、幼稚園使用料に関しては、大幅な値上げはしない、全体の中で均衡を図って料金改正をしたいというような考え方であります。使用料・手数料は、広く皆さんに使われることであれば安く

もいいますが、特定の受益をこうむる方に負担をしていただくのが基本でございます。公平の原則と皆さんが認めるような金額の設定が必要かなということであり、一律的に計算式によって出す考えはありません。

問公益と負担の適正化を目指すのが目的ですが、歳入増収を目指すのももう一つの目的じゃないですか。そこをやっぱり市民に伝えなきゃあ。

答(市長)基本的には、適正な価格になっておるかという見直しと、消費税の賦課というのがあります。財源確保のために見直すという部分もあります。確かにあります。特にごみ手数料においてそれを行いますことを先程から申しております。

問民間企業は、乾いた雑巾をさらに絞るようなコスト削減に懸命です。土岐市政のコスト削減は切り詰められたものでしょうか。また、職員の意味はいかがでしょうか。コスト削減を徹底しないことには、市民の理解は到底得られないと思います。

答(市長)施設の維持管理の経費の節減化は努めております。当然ながら全体の中のコスト削減というのは必要だと思っております。それは努力する義務があると思っております。だから、努力していないから、努力したから使用料・手数料が変わるとい

ようなことは考えておりません。



加藤 辰亥

問 南海トラフ巨大地震の災害廃棄物の処理について。

答 災害廃棄物対策は大規模災害の発生時におきまして迅速な復旧復興を推進するための第一歩と位置づけられています。岐阜県では東日本大震災を踏まえて、南海トラフ巨大地震及び岐阜県に影響のある4つの内陸型直下地震を対象に地震被害想定調査を実施して、南海トラフ巨大地震等被害想定調査結果を公表しました。それを受けて今年3月に、岐阜県災害廃棄物処理計画を策定しています。これによりまずと土岐市においては南海トラフ地震が最も影響があると推定されており、土岐市における災害廃棄物は、可燃物の木くずなどですが4万2千トン、コンクリート殻などの不燃物は19万5千トンと推計されており、合計で23万7千トンの災害廃棄物が発生するであろうとされています。

この中から東日本大震災で得られたリサイクル率等を勘案しますと、全体の6割である14万トンはリサイ

クルができるであろうと推計されており、実際に処理対象とする処分量は、可燃物の焼却量は2万3千トン、最終処分量として、埋め立てでございますが、不燃物7万4千トンに焼却灰5千トンを加えた7万9千トンと予測がされています。

土岐市環境センターでは1日あたりの焼却処理能力は70トンです。年間に換算しますと2万411トンになります。年間の処理実績は1万6664トンになっていまして、余力は年3740トン余りしかないという事になります。環境センターに被害がないという想定で、可燃物の災害廃棄物を処理するためには計算上で6年以上はかかるということになります。また、最終処分場の残余容量については、まだ48万4千トン残っていると推計されており、不燃物に関しては処理が可能であろうと想定されます。ただし、こうした災害廃棄物では、がれき類の分別リサイクルが必要になりますので、一時的な仮置き場が必要になってきます。想定では、土岐市においては8ヘクタールほどの用地が必要と見込まれています。市内・県外を含めた広域な処理計画も必要になってきます。



### 《第4回定例会一般質問》



小関 篤司

◆ 国民健康保険単位化について  
問 保険料が大きく増えた場合は。

答 現行の保険料に相当程度の乖離があれば基金の活用も含めて、激変緩和措置も必要になると考えます。

問 国保の保険料が高いという声があるが、引き下げは出来ないか。

答 1人当たりの保険給付費は、医療の高度化、少子高齢化により年々増大している。平成28年度に基金から1億円を繰入れる予定であり、値下げは非常に困難な状況です。

◆ 土岐市立総合病院について

問 自治体病院は、地域のために救急医療等の不採算部分を引受けており、費用が掛かっても公立病院を残し、よりよい病院にする検討・議論が必要だと考えます。市長はどうか。

答 (市長) 今まで担ってきた総合病院の役割は非常に大きいし、これからもそのようにあるべきと思う。一番の問題はスタッフを恒常的に確保していく仕組みづくりが大変。医療資源も足りない、少子高齢化もあり、未来永劫このまま行けるかは非常に

難しい部分があると思います。

問 公立病院維持は選択肢の一つか。

答 赤字覚悟でいくと(策定委員会)まとまれば、それでいいと思います。

◆ 保育料の見直しについて

問 保育園の非課税世帯と幼稚園保育料全体の値上げ反対の立場で質問します。今回の見直しについて、「子ども子育て会議」での意見は。

答 特段の反対意見はなかった。

問 市議会も議題ではないので、意見は言うだけになってしまう。内閣府は裁量でやっていいということですが、「子ども子育て会議」の議題に上げるつもりはないのか。

答 議決を頂くものではないと考えます。  
問 2014年の泉町認定こども園説明会で「保育料は変えない」と当時も言っていたが、どうなったのか。

答 その時点で方向づけは出ていなかった。今年度新たに出した所です。

問 方向転換したなら説明をするか。

答 未就学児の保護者全員へ詳しい説明文書を送る予定です。

問 保護者や議員の反対があった場合は考えを変えるか、修正するか。

答 (市長) 皆さんと議論して適正な負担をして頂くのが筋だと思います。

問 議論ということは、変わる可能性があるという理解で良いですか。

答 (市長) 考え方が重要で「安ければよい」ではないかと思っています。



# 視察報告

## 議会運営委員会

8月1日 大阪府大阪狭山市

### ○通年議会について

大阪狭山市議会では平成25年3月に通年議会を採択し、今年で4年目を迎える。通年議会の実施により、議会が主体となって本会議を柔軟に開催できるほか、緊急な課題、突発的な事態にも審議を行うことができることから議会活動が活発になり、行政のチェック機能も強化されている。



△大阪狭山市



△大津市

8月2日 滋賀県大津市

### ○通年議会について

大津市議会では平成25年に通年議会が導入された。専決が原則認められないなど、行政活動の継続した監視体制や議会の機能が強化されており、市民サービスの向上にもつながっている。

### ○議会BCP(業務継続計画)について

地方議会としては全国初のBCPが平成26年に策定され、大規模災害などの非常時における危機管理体制が整備された。これにより迅速な意思決定、市民ニーズの的確な反映など、議会の機能維持が図られている。

## 広報広聴特別委員会



△坂井市

8月18日 福井県坂井市

### ○議会報告会について

平成24年度から開催しており、当初は議会報告と質疑応答を行っていたが質問が広範囲に及ぶこと、参加者が少なく発言者も毎回同じであることから、平成25年度から小グループによる意見交換会を実施している。

### ○議会だよりの編集について

表紙と裏表紙をカラー化、表紙の「議会だよりの文字を地元の小学生の直筆(毎回各学校に依頼)、文字を大きくし、写真を多く取り入れるなどの工夫をしている。

8月19日 滋賀県彦根市

### ○議会報告会について

平成26年度から開催しており、1～3回までは市の予算・決算の報告と意見交換を行っていたが、参加者が少なく、4回目から常任委員会でテーマを決め、各種団体とワークショップ形式で意見交換会を行っている。

### ○議会だよりの編集について

行政用語が市民の方にとって読みづらかったため、分かりやすい表現を心掛けている。また、表紙・裏表紙のカラー化、文字の大きさ、余白、写真の取り入れなどの工夫をしている。



△彦根市

# 平成28年度議会報告会を開催しました

6会場で241人が参加

土岐市議会では、平成28年度議会報告会を7月21日から30日にかけて、中学校区を単位に市内6か所で開催しました。今後も開かれた議会を念頭に、皆様への説明責任を十分に果たしてまいります。

## ○報告内容

- ・新庁舎建設について
- ・総合病院について

## 主なご意見・ご感想

### ○新庁舎建設について

- ・事業総額が51億円かかるという話でしたが、完成時には附帯工事で費用が増大することが無いよう、予算は十分に精査を。
- ・市役所庁舎の建て替えは老朽化に伴うものなので必要だと思うが、シンプルかつ機能的になることを願う。
- ・新庁舎は年齢の高い人が行っても分かりやすいところにしてほしい。何をしてもお金はいると思うので良く考えて作ってほしい。親しみやすく使いやすいところに。



▲ ウエルフェア土岐

### ○総合病院について

- ・総合病院の東濃地域内での役割を明確にしてほしい。
- ・黒字化は何年後を目途にしているか。相当な改革が必要と思うが、市民に見えてくるのはいつ頃か。
- ・地域医療構想としては、各病院が地域住民が困らないように病床機能を役割分担し、病床を減らした稼働も可能か。どのように決定するのか。
- ・総合病院は市民の病院として、地域の開業医と力を合わせて市民の健康のために貢献してほしい。生活習慣病予防や認知症予防など高齢化社会に対応できる医療機関としても守ってほしい。

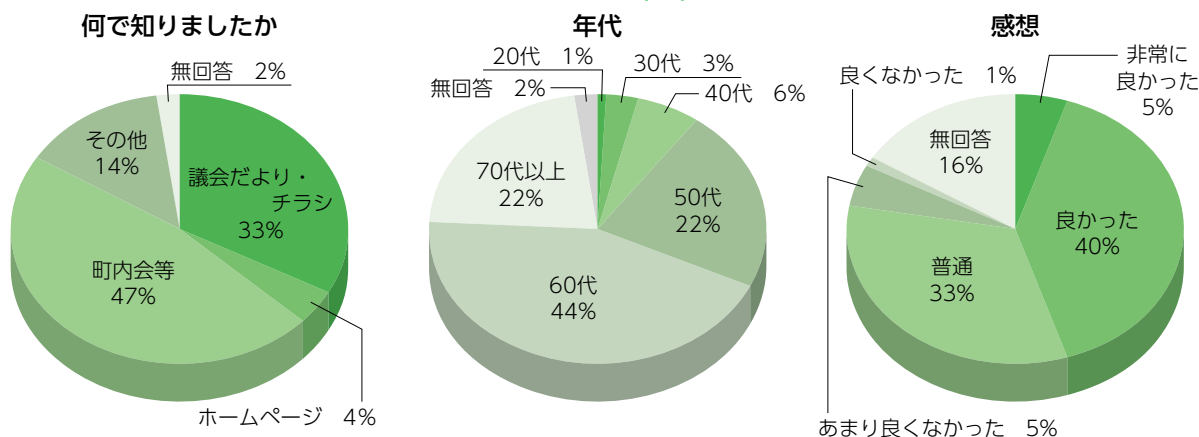
### ○その他

- ・市政と市民が議論する貴重な場であるにも関わらず、参加者が少なかった。開催日や場所を変えて行っているのに参加しない人は市政に文句を言ってほしくない。
- ・この場にいられて良かった。他人事としか考えていなかったが、真剣に考えたいと思った。

※行政に対する要望等については、市長に報告し、議会に対する要望等については、今後、協議・検討していきます。

※報告会で皆様からいただいたご意見・ご感想は、ホームページに掲載しています。

## アンケート結果



# 表紙の写真を募集します



- ◆テーマ 土岐市の豊かな自然
- ◆募集期間 随時募集（ただし、2月号の締切は1月13日までとします。）
- ◆応募資格 土岐市に在住・在勤・在学の方
- ◆規格 現像の場合：Lサイズ以上 デジタル写真データの場合：JPEG形式で2MB程度
- ◆応募方法 次の必要事項を明記の上、土岐市議会事務局へ郵送、電子メールで送信、または持参してください。  
①写真のタイトル(10文字程度) ②撮影場所及び撮影年月日 ③撮影者の住所・氏名・電話番号
- ◆掲載方法 年4回発行（2・6・8・11月）の議会だより（モノクロでの掲載となります）  
写真と一緒にタイトル、撮影場所、撮影者氏名を掲載する予定です。
- ◆審査方法 広報広聴特別委員会にて審査します。
- ◆注意事項 写真は未発表のオリジナル作品とし、著作権・肖像権の侵害などが生じないものに限ります。  
応募写真の返却はいたしません。掲載された写真の著作権は土岐市議会に帰属します。
- ◆応募・問い合わせ  
土岐市議会事務局 住所：〒509-5192 土岐市土岐津町土岐口2101番地  
電話：0572-54-1111（内線351） メール：gikai@city.toki.lg.jp

## あなたも傍聴してみませんか

市議会では、市民の皆さまの生活に密着した重要な問題が審議されています。

市役所の傍聴席入り口の受付で住所・氏名・年齢を記入するだけで、どなたでも傍聴できます。

市政を知っていただくためにも、お気軽にお出かけください。



## 次回12月定例会(予定)

※午前9時開会予定。(変更の場合あり)

日	月	火	水	木	金	土
	11/28	29	30	12/1	2	3
	本会議 (議案提案説明)					
4	5	6	7	8	9	10
			本会議 (質疑・委員会付託 一般質問)	本会議 (一般質問)		
11	12	13	14	15	16	17
	第2常任委員会	第1常任委員会	特別委員会			
18	19	20	21	22	23	24
		本会議 (委員長報告 質疑・討論・採決)				
25	26	27	28	29	30	31

## 編集後記

日頃、多くの皆様より市政の発展にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

今年の夏は、リオ五輪が開催され、多くのメダル獲得と、勇気と感動を与えてくれました。若手選手の活躍も東京五輪への楽しみとなりました。国内では、猛暑や大型台風での大きな爪痕など、自然の前では人間は無力であることを感じ、家族で防災について話し合い、いざという時の備えの大切さを改めて考えさせられました。そんな中、子どもたちは運動会を開催し、元気に精一杯取り組む姿を見せてくれました。将来のオリンピック選手誕生を期待し、この子たちが健やかに過ごせる土岐市となるよう皆様の声を市政に反映させて参りますので、今後ともご協力のほどお願いいたします。

(文責：鈴木 正義)

### 広報広聴特別委員会

委員長：水野 哲男 副委員長：北谷 峰二  
 委員：西尾 隆久 高井由美子 加藤 淳一 後藤 久男 山田 正和  
 鈴木 正義 和田 悦子 小関 篤司